

解 答 速 報

川崎医科大学 英語

2025年 1月 26日実施

<解答>

I	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
	(a)	(c)	(d)	(b)	(c)	(d)	(d)	(c)	(b)				
	10	11	12	13	14	15	16	17	18				
II	(c)	(b)	(d)	(c)	(a)	(d)	(a)	(a)	(c)				
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
III	(d)	(b)	(c)	(d)	(b)	(a)	(b)	(b)	(c)	(d)	(b)	(a)	(a)
	32	33	34	35	36	37	38	39	40				
	(c)	(a)	(d)	(b)	(a)	(c)	(a)	(b)	(d)				

I 文法4択

- 問 1 (a) A: How soon will you be back? I really need your help with this new plan.  
「どれくらいで戻るのかな。この新しい計画について君の助けが本当に必要なんだ」  
B: By noon. I promise to help you as soon as I get back.  
「正午までには戻るよ。戻ったらすぐに手伝うと約束するよ」
- 問 2 (c) In case the power goes out during the storm, be sure to have flashlights ready.  
「嵐の間に停電するといけないので、懐中電灯を必ず準備しておきなさい」  
<go out> : 「(火や灯りが) 消える」
- 問 3 (d) The difficulties faced by small businesses are as serious as those of major corporations.  
「中小企業が直面する困難は、大企業の直面する困難と同じくらい深刻だ」
- 問 4 (b) I'm going to pay a visit to my grandparents this weekend to celebrate their wedding anniversary.  
「今週末、結婚記念日を祝うために祖父母のもとを訪問する予定だ」  
<pay a visit to ~> : 「~を訪問する」
- 問 5 (c) Would you recommend reading that newly published book? I've heard it's very interesting.  
「新しく出版された本を読むことをお勧めしますか。とても面白いと聞きました」
- 問 6 (d) There is a strong possibility that this medicine will upset your stomach.  
「この薬は胃の調子を悪くする可能性が高い」

- 問 7 ④ When it comes to cooking, she is an expert in preparing dishes that everyone loves.  
 「料理に関しては、彼女はみんなが喜ぶ料理を作る達人だ」  
 <when it comes to ~> : 「～に関しては」
- 問 8 ③ She managed to save what little money she earned from her part-time job to buy a car.  
 「彼女は車を買うために、アルバイトで得た少ないながらもすべてのお金を何とかして貯蓄に回した」  
 <what (little) money ~> : 「～（わずかながらも）すべてのお金」
- 問 9 ⑥ Mike takes pride in his job and always works hard for perfection.  
 「マイクは自分の仕事に誇りをもっていて、いつも完璧を目指して一生懸命働いている」  
 <take pride in ~> : 「～に誇りをもつ」
- 問10 ③ The author's latest book was not well received by the critics, nor was it popular among readers.  
 「その著者の最新作は批評家たちからあまり受けがよくなく、読者の間でも人気がなかった」  
 <not/neither ... nor ~> : 「…なく、～でもない」
- 問11 ⑥ A: I can't believe my phone died three times in a row today. B: That's really annoying. Maybe it's time for a new battery.  
 「私の携帯電話が今日で3日続けて充電切れになるなんて信じられないです」「それはとても厄介ですね。おそらく新しいバッテリーの買い替え時です」  
 <in a row> : 「連続で、続けて」
- 問12 ④ Don't let the early stages of influenza go unnoticed, as it can quickly become serious.  
 「インフルエンザの初期段階を見逃してはいけない。それはすぐに重症化する可能性があるからだ」  
 <go unnoticed > : 「気づかれないままになる、見逃される」
- 問13 ③ She was often negligent of her health, skipping meals and ignoring symptoms of stress.  
 「彼女は自分の健康に無頓着であることが多く、食事を抜き、ストレスの症状を無視していた」
- 問14 ① I suggested to a student having trouble that he start working on his assignments earlier.  
 「私は、問題を抱えている生徒に、課題に早めに取り掛かるよう提案した」
- 問15 ④ We predicted our business would suffer due to the long recession. On the contrary, our sales doubled this year.  
 「長期にわたる不況のため、私たちは自分たちのビジネスが打撃を受けるであろうと予測していた。しかし、それとは逆に今年の売上は2倍になった」  
 <on the contrary> : 「それどころか、それとは逆に」
- 問16 ① A: We've wasted enough time chatting already, haven't we?  
 「もうおしゃべりにいっぱい時間を使ってしまったね」  
 B: You're right. Let's get down to business.  
 「そうだね。本題に入りましょう」  
 <get down to ~> : 「～に取り掛かる」
- 問17 ① He shouldn't have told her about the gift. He spoiled our plan to surprise her.  
 「彼は彼女にプレゼントのことを話すべきではなかったのに。彼は私たちのサプライズ計画を台無しにしてしまった」  
 <shouldn't have p.p.> : 「～すべきでなかったのに」

問18 ㉔ She told a funny story to break the ice, which helped everyone feel more comfortable at the meeting.

「彼女は緊張をほぐすために面白い話をしたが、そのおかげで会議の雰囲気は和やかになった」

<break the ice> : 「(場をなごやかにするために) 話の口火を切る, 緊張をほぐす」

II 長文総合

問19 「本文によると、1980年代以前では、単語連想を研究するのにどのような方法がよく用いられていたか」

- ㉑ 「人々に好まれる単語を集めること」
- ㉒ 「単語構造の仕組みを探ること」
- ㉓ 「単語断片のパターン分析をすること」
- ㉔ 「ある単語が人々に何を連想させるかを尋ねること」

正解は㉔。第1段落第2, 3文が根拠となる。それらの意味は「数十年前まで、連想を研究する唯一の方法は、多くの人々に『DAYという単語を耳にしたときに、最初に思い浮かぶ単語は何ですか』と尋ねることだった。研究者たちは、“night”や“sunny”,あるいは“long”といった回答の頻度を集計した」である。これらの記述内容を端的にまとめたものが㉔である。

問20 「空所(㉕)に入れるのに最も適切な単語を選べ」

- ㉑ 「誤り」
- ㉒ 「反対」
- ㉓ 「利益」
- ㉔ 「混乱」

正解は㉒。空所を含む1文のおよその意味は「もちろん、WASHを見たばかりであれば、～である」である。この1文の直前にある第1段落第5文で述べられていることを踏まえる必要がある。その1文の意味は「EATという単語を最近見聞きした場合、SO\_Pという単語をSOAPとして完成させるよりも、SOUPとして完成させる可能性の方が一時的に高くなる」である。だとすれば、直近で見聞きした単語が WASHという場合に起こりそうなことは、「逆のこと」と予想できる。

問21 「人々が頭の中にEATという概念が浮かんでいる場合に起こるであろうことは何か」

- ㉑ 「彼らはほとんど何もしっかりしたものを食べる必要性を感じないだろう」
- ㉒ 「彼らは、遠くの物体を知覚する力が飛躍的に向上するのがわかるだろう」
- ㉓ 「彼らは、たとえ聞き取りにくかったり、気づきにくかったりしても、食べ物にまつわる単語に反応するだろう」
- ㉔ 「彼らは食事に健康的な食品を取り入れることに、より敏感になるだろう」

正解は㉓。第2段落第2文が根拠となる。その1文の意味は「意識しているかどうかにかかわらず、EATという概念があなたの頭の中に浮かんでいる場合、SOUPという単語が小声で話されたり、ぼやけたフォントで表示されたりしても、あなたはいつもより早くその単語に気づくことになるだろう」である。この内容を言い換えたものが㉓である。

問22 「下線部(22)“these ripples”とは何のことを指しているのか」

- ㉑ 「多くの考えを一度に吸収できる、柔軟で順応性のある頭脳」
- ㉒ 「心の広大な領域を支配し、瞬時に消える単語」
- ㉓ 「心理学者が心をより深く理解するために作成した円形チャート」
- ㉔ 「心のある部分で形成された考えが、関連する考えの間で広がり進んでいくこと」

正解は㉔。下線部を含む1文の意味は「こうした波紋のマッピングは、現在、心理学研究で最もエキサイティングな研究のひとつとなっている」である。ripples についての言及は、直前の第2段落第6文が最初であり、その1文の意味は「池の波紋のように、活性化のはたらきは関連する考えの広大なネットワークのある小さな部分を通じて広がっていく」である。言葉だけでは少々わかりにくいところだが、水面に波紋が広がる様子を思い浮かべられれば、この段落で説明されているプライミング効果の

イメージが理解しやすいだろう。

問23 「ジョン・バージと共同研究者たちは実験の初めに被験者に何をしよう求めたか」

- Ⓐ 「一組の文字を用いて4つの単語を作ること」
- Ⓑ 「5つのうちから4つの単語を用いて文を構成すること」
- Ⓒ 「さらに4つの単語を付け加えて声明を完成させること」
- Ⓓ 「年齢に結び付いた4つの単語を選ぶこと」

正解はⒷ。第3段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「すぐに古典的なものになったある実験において、心理学者ジョン・バージと共同研究者たちは、大半が18歳から22歳のニューヨーク大学の学生に、5つ1組の単語（たとえば，“finds he it yellow instantly”）から4つの単語を選んで、文を組み立ててもらった」である。これに最も近い内容の選択肢がⒷである。

問24 「バージの実験の実際のねらいは、何を測定することだったか」

- Ⓐ 「ある所まで移動するのにどれだけの時間がかかったか」
- Ⓑ 「どれだけの数の文をうまく作成することができたか」
- Ⓒ 「お年寄りに関するバラバラな単語をどれくらいの回数使ったか」
- Ⓓ 「参加者たちが体力を使ってどれくらい遠くまで歩けたか」

正解はⒶ。第3段落第6、7文が根拠となる。それらの意味は「その短い距離を歩くことが実験の主眼だった。研究者たちは、人々が廊下の端から端まで移動するのにかかった時間をこっそりと測定した」である。<what A is about> は「Aの核心、Aの最も重要な所」という意味である。

問25 「高齢者に関する単語を使って文を作成した参加者において、どんなことが観察されたか」

- Ⓐ 「高齢者を支えることが重要だと、彼らは考え始めた」
- Ⓑ 「彼らはゆっくりと次のオフィスに行った」
- Ⓒ 「年をとることについて、彼らはほとんど考えを表明しなかった」
- Ⓓ 「違うオフィスでもう一つ実験をする活力が、彼らにはもっと必要だった」

正解はⒷ。第3段落第8文が根拠となる。その1文の意味は「バージの予想通り、高齢者をテーマにした単語から文を作り上げた若者たちは、他の人たちよりもかなりゆっくりと廊下を歩いた」である。<fashion A from B> は「BからAを作る」という意味。

問26 「『フロリダ効果』に関して、どういうことが言えるか」

- Ⓐ 「思考の意識的連想に関わる」
- Ⓑ 「ある概念が行動に与える影響に関わる」
- Ⓒ 「理想的な住処として人々をフロリダに引きつける」
- Ⓓ 「人々に自分の老化を完全に意識させる」

正解はⒷ。第4段落第6文がそれまでの記述を踏まえた根拠となる。その1文のおよその意味は「この顕著なプライミング現象、つまり概念によって行動が左右されることは、観念運動効果として知られている」である。指示語の this を使ってそれまでの内容をまとめていることに気づくと、その言い換えの箇所を手掛かりにⒷを選ぶことができる。

問27 「後になって実験に関して問われた時、参加者はどのように反応したか」

- Ⓐ 「単語に関して共通のテーマがあると気づいたが、自分の行動には何の変化も見出さなかった」
- Ⓑ 「『古い』という単語を思い出し、そのため意識的に歩くペースを早めた」
- Ⓒ 「目にした単語とその後の行動の間に、何の関係も認めなかった」
- Ⓓ 「第二の課題に関する態度に自発的な努力が影響を与えたと感じた」

正解はⒸ。第4段落第4文が根拠となる。その1文の意味は「その後、生徒たちに質問したところ、生徒たちのうち誰も、その単語が共通のテーマを持っていることに気づいていないと報告していなか

ったし、彼らの全員が最初の実験の後に自分がとったどんな行動も彼が目にした単語に影響されていたはずがないと主張していた」である。この内容を端的にまとめたものが㉔である。

問28 「空所(㉔)に入れるのに最も適切な単語を選べ」

- ㉔ (a) 「～だが」
- (b) 「もし～なら」
- (c) 「～なので」
- (d) 「～である場合を除いて」

正解は㉔。接続詞を選ぶ問題なので、前後の文脈を検討する必要がある。第3段落で心理学者のジョン・バージらが行った実験の説明が第4段落でも継続している。第4段落第5文では「老年のイメージが自覚のある意識の中に思い浮かんだわけではないが、それでも彼らの行動は変化が起きた」と述べられており、その具体例が、空所の含まれる第4段落第8文前半部分(ロングダッシュまで)において、「もしコップ一杯の水を得るのに立ち上がらなければならなかったとしたら、椅子から立ち上がるのが普段よりわずかにゆっくりだっただろう」というように述べられている。ひとまず空所はそのままに第8文後半部分を確認すると、「あなたがたまたま高齢者のことが嫌い～、そしてその場合には、椅子から立ち上がるのが普段よりわずかに速くなっただろうと研究は示している」と述べられている。すなわち、「あなたがたまたま高齢者のことが嫌い」という特殊な条件が加わる場合には、「椅子から立ち上がるのが普段よりわずかに速くなった」という通常とは真逆の例外的な実験結果が生じたということである。したがって、空所には例外条件を示す㉔ **unless** が入る。その部分の意味は「あなたがたまたま高齢者のことが嫌いである場合を除いて」である。

問29 「空所(㉕)に入れるのに最も適切な語句を選べ」

- ㉕ (a) 「忠実な複製」
- (b) 「鏡像」
- (c) 「独自の手法」
- (d) 「標準モデル」

正解は㉕。空所を含む最終段落第2文では、ドイツの大学の研究と、(第3・4段落で言及された)バージらの研究が比較されており、第1文「観念運動のつながりは逆方向にも働く」とあることから、2つの研究が真逆の内容を持つことが予想される。実際、バージらの研究では、提示された言葉の持つ「老年」のイメージがプライミング効果により被験者の行動にも影響を及ぼしていたのに対して、最終段落第3、4文に述べられたドイツの大学の研究では、行動をゆっくりさせることで「老年」のイメージを持つ言葉への反応が高まったという、真逆の因果関係が示されている。以上より、㉕ **mirror image** が入る。その1文の意味は「ドイツの大学で行われた研究は、バージと同僚がニューヨークで行った最初期の実験が鏡写しになったものである」である。

問30 「ドイツの大学で行われた実験で、参加者が求められたことは何か」

- ㉖ (a) 「彼らが普段歩くスピードを30%ほど(に)抑えること」
- (b) 「5分間歩くことで、彼らの標準ペースを測定すること」
- (c) 「部屋の中を5分以内に30歩で歩き回ること」
- (d) 「彼らが普段歩くペースを3割ほど速めること」

正解は㉖と思われる。最終段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「学生たちは毎分30歩のペースで5分間部屋を歩き回ろう求められたのだが、それは彼らが普段歩くペースの3分の1ほどだった」である。㉖の意味は「彼らが普段歩くスピードを30%ほど抑えること」であるが、他の選択肢が明確に誤りであるため、㉖で言いたいのは「彼らが普段歩くスピードを30%ほどに抑えること」だと判断する。

問31 「空所(㉗)に入れる最も適切な語句を選べ」

- ㉗ (a) 「思考を補強する」
- (b) 「イメージを変える」



- ㉓ 「段階を加速させる」
- ㉔ 「真実を反映する」

正解は㉔。第4段落で述べられている「フロリダ効果」は、一連の単語が思考を方向付け、思考が行動を方向付けるというものである。つまり、これを図式化すれば「単語→思考→行動」になる。これに対して最終段落第1文では、「観念運動 (ideomotor) は逆方向にも作用する」とあり、これは行動が思考や言葉を方向付けるという文脈である。つまり、これを図式化すれば「行動→思考→単語」になり、逆方向に作用するというのはこのことを意味している。最終段落最終文では、「相互的なブライミング効果は一貫した反応を生み出す傾向にある」とあり、相互的というのは「単語→思考→行動」でもあり「行動→思考→単語」でもあるということの意味する。そのあとに続く文の「もし高齢者について考えるよう方向付けがされれば、高齢者のように行動し、」の部分は、「思考→行動」を示している。先ほどの「逆方向にも作用する」を当てはめれば「行動→思考」が成立する。ということは最後の「高齢者のように行動することは」に続くのは「(高齢者の) 思考を補強する」になるはずである。

### Ⅲ 長文総合

問32 「この文脈において、下線部(32) “pick my brain” という表現の意味は何か」

- ㉑ 「ある話題に関する作家の知性を確認すること」
- ㉒ 「作家に指導を行うこと」
- ㉓ 「作家に助言を求めること」
- ㉔ 「作家に重要な決定をさせること」

正解は㉓。第1段落第1文に、「講演会終了後に女性が私に近づいて質問しに来た」とあり、第2段落では、この女性が会社の次期CEO (最高経営責任者) の候補に挙がっており、会社の経営に関する困難な問題に直面していることなどが語られている。以上を踏まえると、この女性が作家である「私」に問題の解決策となるような助言を求めていることがわかる。<pick one's brain> は「知恵を拝借する」という慣用表現である。

問33 「次のうち、この女性が提示した解決策について正しいのはどれか」

- ㉑ 「それは複雑で、実行するのに重大なリスクを伴った」
- ㉒ 「それは複雑だったが、実行するリスクは最小であった」
- ㉓ 「それは彼女のライバルの解決策と比べて、実行するのにあまりに単純すぎるものだった」
- ㉔ 「それは、コストはあまりかからないが、間違う可能性が高いものだった」

正解は㉑。第2段落第4文が根拠となる。その1文の意味は「彼女の考えは、実際のところ問題を解決するように思われたが、複雑で実行に際してリスクがいっぱいであった」である。選択肢はこの内容を言い換えたものである。

問34 「空所(㉔)に入れるのに最も適切な単語を選べ」

- ㉑ 「拒絶する」
- ㉒ 「自慢する」
- ㉓ 「強制する」
- ㉔ 「認める」

正解は㉔。第3段落全体の意味は「自分の考えを詳細に語っている時の彼女は、時間と労力を自己弁護に費やして、自分の解決策が(ライバルの解決策よりも)優れたものであることを証明しようとしていた。彼女が成功したことといえば、自分の解決策が最善のものではないという自覚があることを明らかにすることだけであった。彼女は正しさの間違った側面に陥っていた。彼女はただそのことを認めたくなかった」である。彼女自身、自分の解決策が絶対に正しいものとは思っていないが、自尊心が高いために、自分の正しさに固執し、自分が間違っていることを認めたくない様子が文脈から伝わる。

問35 「作者はどのようにして女性を助けようとしたか」

- Ⓐ 「彼は彼女に考えを変えさせ、彼の考えにしたがって物事を行うよう期待した」
- Ⓑ 「彼は彼女に、頑なになっていた過去と、いかにしてそのような自分を修正したかについて話した」
- Ⓒ 「彼は彼女にたとえどんな間違いを犯そうとも、彼女の元々の計画を信じるようアドバイスした」
- Ⓓ 「彼だけが彼女の問題と間違いを正しいやり方で解決することができるかと伝えた」

正解はⒹ。第4段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「彼女が苦い経験を通じてそれを学ぶ前に、私は自分がその考え方に囚われていたことで学んだ、厳しくも高くついた教訓を彼女に伝えることにした」である。その考え方 (that mindset) とは同段落第1文のコロン以下, “they think they’ll be worthless if they’re not right” のことを指しており、それは「彼らは、あなたが正しくなければ価値がないと考える」という考え方のことである。つまり、過去の自分自身の誤った考え方を彼女に語って悟らせようとしている。よって選択肢Ⓓが正解だとわかる。

問36 「下線部(36) “I had my identity wrapped up in being right” と語ることで作者が言おうとしたことは何か」

- Ⓐ 「彼の自尊心は完全に正しくあることに依拠していた」
- Ⓑ 「彼は正しいときでさえも批判されることを恐れていた」
- Ⓒ 「彼は正しくあることに絶対的な自信があった」
- Ⓓ 「正しくある彼の方法は他者から隠されていた」

正解はⒶ。第5段落第1, 2文が根拠である。それらの意味は「私は長い間、もし最高のアイデアが私のアイデアでなかったら、自分には何もないと思っていた。誰も私を価値ある存在として見てくれない、つまり誰も私を洞察力のある存在として見てくれない、そう、私は何も貢献していないことになる、と思っていた」である。これは自分自身のアイデンティティの判断を「正しいかどうか」に委ねていることを意味しており、それを1文で言い換えたものが下線部の1文である。その意味は「私は、正しくあることによって、自分のアイデンティティを守っていた」である。この内容に近いものがⒶである。

問37 「括弧内の語句を並べ替えて文を完成させるとき、空所(X)と(Y)に入る最もふさわしい組み合わせを選びなさい」

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| Ⓐ (X) a business     | (Y) how wrong         |
| Ⓑ (X) I began        | (Y) that              |
| Ⓒ <u>(X) running</u> | <u>(Y) I realized</u> |
| Ⓓ (X) how wrong      | (Y) running           |

正解はⒸ。完成した英文は, “It was not until I began running a business that I realized how wrong I’d been.” である。その1文の意味は「私が事業の運営を開始して初めて、私がいかにこれまで間違っていたのかがわかった」である。問36で解説したように、これまでは自分のアイデンティティを正しさに委ねていた、つまり正しいかどうかを尺度として自分の価値を判断していたのだが、それが誤りであったということ、自分でビジネスを始めてようやく理解したという文脈である。

問38 「2つの空所( ㉝-A )と( ㉝-B )に入れるのに最も適切な単語の組み合わせを選べ」

- Ⓐ (A) 「称賛」 (B) 「結果」
- Ⓑ (A) 「結果」 (B) 「称賛」
- Ⓒ (A) 「経験」 (B) 「報酬」
- Ⓓ (A) 「報酬」 (B) 「経験」

正解はⒶ。空所を含む1文のおよその意味は, 「( ㉝-A )は気にしなかった。( ㉝-B )を気にしたのである」である。その前の1文では「自分が正しくありたいということを断念すればするほど、得られる結果がよくなった」とあり、助言を求めてきた女性に対する、筆者自身が学んだ経験が語られて

いる。この結果として空所を含む1文があると考えれば、気にするようになったのは「結果」であると考えられる。そのため(B)はresults「結果」と確定できる。また(A)については、本文の文脈からは、<get the credit> で「(功績を)認められる」「よい評判を得る」の意味になる。なお、第6段落第1文と第2文でも述べられているように、CEO候補者である彼女に対する助言として、筆者は会社を経営するようになってから「誰が正しいか」ではなく「何が正しいか」に集中するようになったとある。経営者として会社にとって何が正しいかを気にすること、これが、(B)「結果」を気にしたということの指す内容であると考えられる。

問39 「その女性にとって、下線部(39) “a tough pill to swallow” とはどのようなことだったか」

- Ⓐ 「最終的にCEOの職に就任すること」
- Ⓑ 「彼女のライバルの考えを最終的に支持すること」
- Ⓒ 「彼女の競争相手の忠告を真剣に受け止めること」
- Ⓓ 「取締役会を説得して彼女の案をうまく採用させることができること」

正解はⒹ。下線部を含む1文のおよその意味は「それは受け入れがたい経験だったが、最終的に私の競争相手の解決策を支持することになった～」である。下線部の意味内容は、端的には下線部直後にある“supporting my rival’s solution”を指すと考えられるため、それに最も近い選択肢Ⓓを選ぶことになる。

問40 「彼女がその職にふさわしい人物であると会社が考えたのはなぜか」

- Ⓐ 「彼女は競争相手の考えを自分の頭の良さを通してさらによいものへと変更できた」
- Ⓑ 「彼女のもともとの主張は、彼女の毅然とした性格のためほかの誰よりも強いものだった」
- Ⓒ 「筆者は彼女に、他の候補者によって出されたものよりもはるかにすぐれた案を与えた」
- Ⓓ 「彼女は会社の利益が彼女の自尊心よりも重要であるということを示した」

正解はⒹ。解答の根拠となるのは最終段落最終文である。そのおよその意味は「取締役会は、～私が自分の自尊心を捨てて、会社にとって最善のことができる人間であることを理解したとき、私がふさわしい人間であるということを理解したのです」とある。この内容に合致する選択肢はⒹである。



講評

- I [文法 4 択] (標準) 熟語・慣用表現・前置詞を中心と標準的な文法，語法に関する出題で，日頃の学習で学んだ知識を活かすことのできる問題で構成されている。
- II [長文総合] (標準) 「連想に関する研究方法における近年の発展」に関する英文。比喻表現の意味を問う設問など，内容理解度によって差のつきやすい設問が用意されている。各研究手法の特性や違いを丁寧に読み解くことが求められる。
- III [長文総合] (標準) 「正しくあろうとすることの問題点を語る」場面を描いた英文。一貫して語られる，「正しくあろうとすること」に拘泥するあまり現実を見誤る人物像を理解した上で，それとは異なるメンタリティの特徴を理解することが求められている。

大問数，全体の設問数には変化なし。全体に取り組みやすいがそれなりに差は出る問題。目標は 70%

**メルマガ無料登録で全教科配信！** 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

<p>医学部進学予備校 <b>メビオ</b></p> <p>☎0120-146-156 <a href="https://www.mebio.co.jp/">https://www.mebio.co.jp/</a></p>	<p>医学部専門予備校 <b>YMS</b> <small>heart of medicine</small></p> <p>医学部専門予備校 <b>英進館メビオ</b> 福岡校</p>	<p>☎03-3370-0410 <a href="https://yms.ne.jp/">https://yms.ne.jp/</a></p> <p>☎0120-192-215 <a href="https://www.mebio-eishinkan.com/">https://www.mebio-eishinkan.com/</a></p>	 <p>登録はこちらから</p>
---	---	---	---

<p><b>合格への最後の一步！</b></p> <p>1/28 兵庫医大 1/29 金沢医大</p> <p><b>受講無料</b></p> <p><b>前日特別講座</b></p> <p>18:00～18:30</p> <p>詳細やお申込はこちらから</p> 	<p><b>諦めない受験生をメビオは応援します！</b></p> <p><b>医学部後期入試</b></p> <p><b>ガイダンス</b></p> <p>2/11 (火・祝)</p> <p>14:00～14:30 医学部進学予備校メビオ校舎</p> <p>参加無料</p> <p>詳細やお申込はこちらから</p> 	
<p>医学部進学予備校 <b>メビオ</b> <small>フリーダイヤル</small> ☎0120-146-156</p>	<p>校舎にて個別説明会も随時開催しています。 【受付時間】 9:00～21:00 (土日祝可)</p>	<p>大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋 天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分</p>